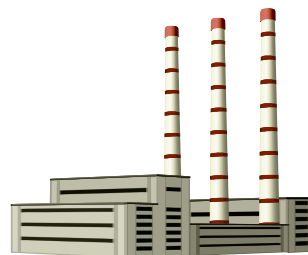
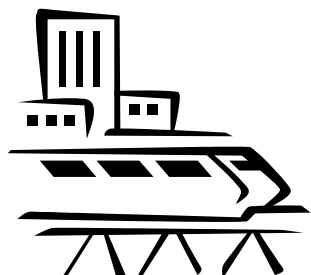


経済産業省委託  
2013年度 貿易投資促進事業

# 「国際即戦力育成インターンシップ事業」 インターン募集説明会



一般財団法人 海外産業人材育成協会 (HIDA)  
独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO)

**HIDA**

JETRO



# 事業実施者の紹介

## 一般財団法人 海外産業人材育成協会（HIDA・ハイダ）

設 立	1959年(昭和34年)8月10日	
事業所	(1) 国内拠点	東銀座事務所 東京都中央区 北千住事務所:東京都足立区 研修センター:東京・関西(大阪市)・中部(愛知県豊田市)
	(2) 海外拠点	バンコク、ジャカルタ
職員数	142人(2013年4月現在)	

## 独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO・ジェトロ）

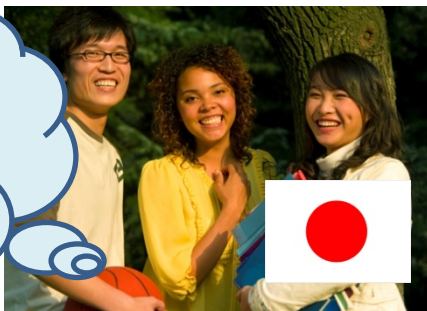
設 立	2003年(平成15年)10月1日	
事業所	(1) 国内拠点	本部(東京)、大阪本部、アジア経済研究所、貿易情報センター 37事務所
	(2) 海外拠点	海外 55カ国 73事務所(2013年4月1日現在)
職員数	国内 836名、海外 700名、合計 1,536名(2013年3月1日現在)	

## 事業の目的

日本の若手人材を開発途上国の政府、政府系機関、業界団体、現地企業、日系企業等に派遣し、海外での実務的なインターンシップ(就労体験)を通じて、日本と派遣国との経済協力強化とビジネス関係の発展を担う架け橋となり得る人材を育成し、下記の事業目的の達成を目指します。

1. 中小・中堅企業の海外展開促進(市場調査、現地パートナー探し、人材育成)
2. インフラビジネス案件の獲得において重要な政府系機関・現地キーパーソンとのネットワークや協力関係の構築促進
3. 新興国のビジネスにおいて重要な政府系機関とのコネクション獲得促進
4. 将来のグローバルリーダーとなり得る日本の学生の育成促進

開発途上国でのビジネス展開に強い関心と意欲を持つ、日本の若手社会人・学生



派遣期間:  
3～5.5ヶ月



開発途上国における、  
・政府／政府関係機関  
・ローカル企業  
・進出日系企業

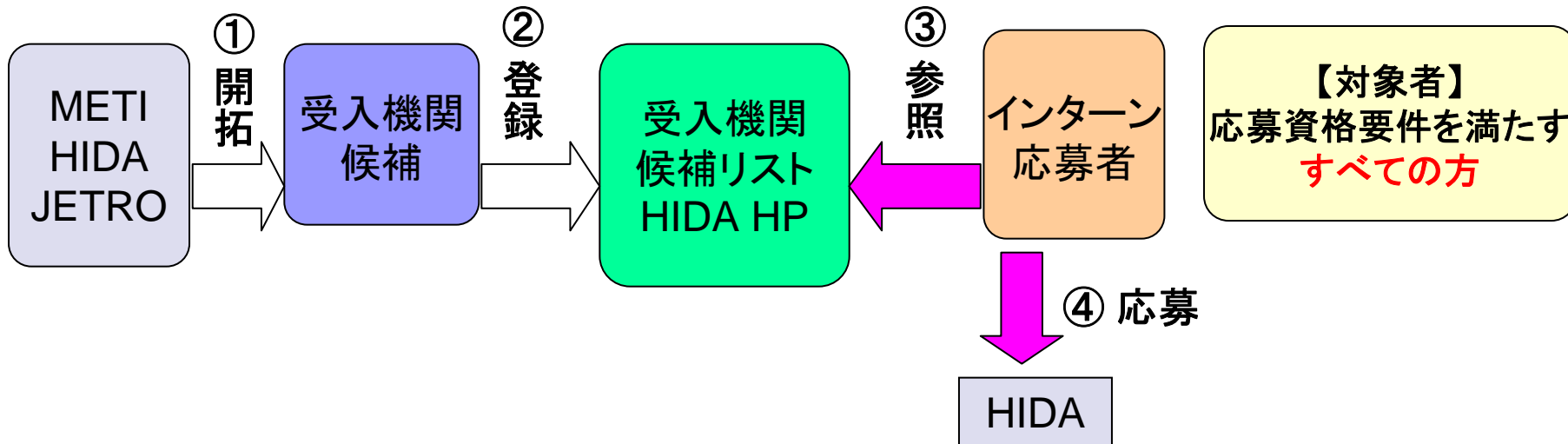
## インターンシップとは？

企業や団体等での実務的な就労体験。業務の補助や関連企業・団体への視察・見学同行、関連企業・団体等とのネットワーク・協力関係構築のための各種関連セミナーへの参加・意見交換、両国の商習慣の理解促進に向けたプレゼンテーションの実施等。

# 「公募型」と「提案型」の違い

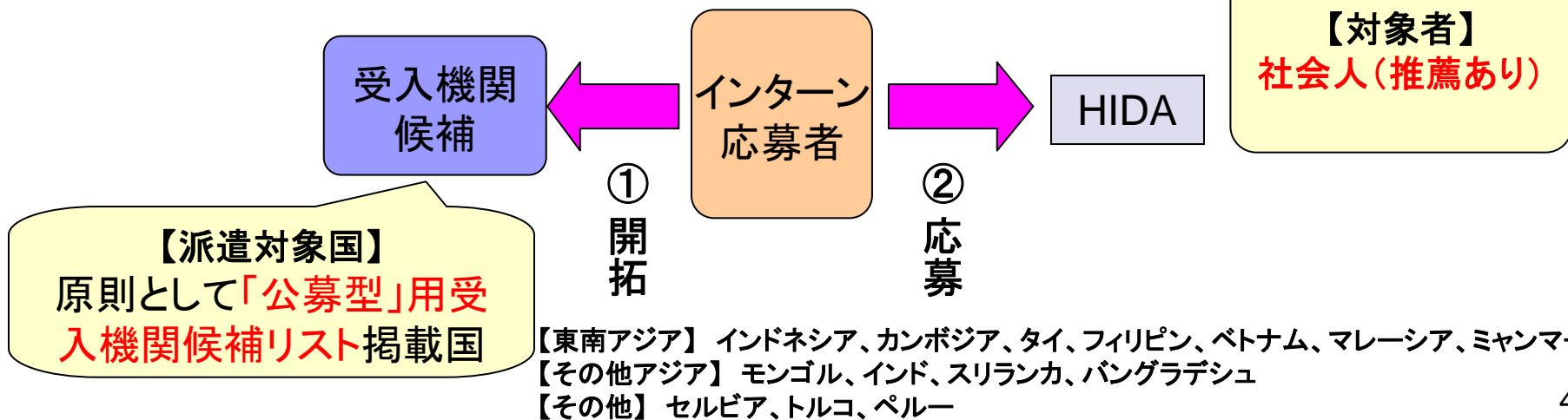
## 公募型

受入機関候補リストから希望先を選択して応募



## 提案型

受入機関候補の提案とともに応募



# 応募者の属性による申し込み可否(公募型/提案型)

応募者	受入機関		政府系機関 インフラ関連産業 商工会議所 非営利団体等	民間企業	注意
	公募型	提案型			
① 社会人(推薦あり) * 中小・中堅企業所属	公募型	提案型	○	○	<p>◆ 所属先企業と受入機関候補との間に<u>資本関係有</u> ⇒ 相互の <u>出資比率50%未満かつ筆頭株主でない場合のみ応募可</u></p> <p>◆ 受入機関候補と所属先企業が<u>実質的にグループ企業と</u> 看做される場合(主要株主が同一企業等) ⇒ 直接の資本関係がなくても、選考時の <u>優先順位は下がる</u></p>
	公募型	提案型			
③ 学生	公募型	提案型	○		<p>①② 社会人(推薦あり): インターン派遣について所属先の同意・推薦を得ている社会人</p>
	公募型	提案型	×		
④ 社会人(推薦なし)	公募型	提案型	○		<p>④ 社会人(推薦なし): 現在所属先がない/退職予定/インターン派遣について所属先の同意・推薦を得ていない社会人</p>
	公募型	提案型	×		

	中小企業*	中堅企業
製造業その他業種	資本金3億円以下、 または常用する従業員数300人以下	中堅企業に関しては、法的な定義が存在していないため、資本金・売上高・従業員数などを踏まえ、対象範囲は柔軟に対応します。
卸売業	資本金1億円以下、 または常用する従業員数100人以下	
小売業	資本金5千万円以下、 または常用する従業員数50人以下	
サービス業	資本金5千万円以下、 または常用する従業員数100人以下	

\* 中小企業基本法の定義に基づく。

2013年4月

受入機関候補の開拓・登録

【公募型】 METI、HIDA、JETROIによる開拓

2013年5月

(1) インターンの募集・応募

HIDA、JETROIによる募集説明会の実施

募集期間:

2013年5月20日(月)～6月21日(金)

【提案型】

申込者による受入機関候補の  
独自開拓

2013年6月

(2) 書類選考・面接

(3) マッチング・選考

2013年7月

(4) マッチング結果通知連絡/HIDAによる派遣準備手続開始

(5) 基本契約・覚書(MOU)締結

(9) インターン候補者による派遣前準備開始

- 1 派遣国の情報収集
- 2 受入機関との連絡・各種調整
- 3 予防接種等(任意)

2013年8月

(5) 付属MOU締結

(6) 国内事前研修の実施

- ・インターンシップ基礎研修
- ・グローバル人材育成研修
- ・現地語研修

(7) インターンシップ計画書の提出、受理  
(受入機関との協議で策定した計画書)

2013年9月

(8) 審査委員会での承認→**派遣決定**、結果通知

次ページへ

前ページより

(9)-4 インターン出発/インターンシップ開始

- (10) 現地オリエンテーションへの参加
- (11) 派遣後のインターン生による調整業務等
  - 1 インターンシップ計画書の見直し、提出
  - 2 月報の作成・提出
  - 3 安全面の情報収集(適宜)
  - 4 各種届出の提出

インターン帰国

(12) インターンシップ報告書の作成・提出  
 ※原則として帰国後2週間以内の提出

(13) 帰国報告会

(14) 対象経費の精算

\* 出発・帰国時期は  
 インターンにより  
 異なります。

2013年9月

2013年10月

2013年11月

2013年12月

2014年1月

2014年2月

2014年3月



## (1) インターンの募集・応募（2013年5月20日（月）～6月21日（金））

### 公募

- ◆派遣希望先を**最大3つ**まで記入⇒マッチング調整の幅が広がる可能性有り
- ◆受入機関候補リスト⇒募集期間中週2回（**火・木曜日**）更新
- ◆受入機関候補リスト
  - ・記載内容に関する質問⇒必ず**日・英併記**で
  - ・質問受付⇒6月7日（金）まで
  - ・回答⇒6月10日（月）からHIDAホームページにて順次公表

### 提案

- ◆事業趣旨、受入機関の登録要件、役割等受入機関候補に十分理解してもらった上で応募
- ◆公募型・提案型の**併願不可**

## (2) 書類選考・面接

### 共通

- ◆書類選考、及び原則面接による適性・英語力等確認（HIDA・JETRO事務所にて実施予定）
- ◆面接のための**交通費は支給されません**
- ◆選考・面接結果に関する個別問い合わせにはお答えできません

### 提案

- ◆受入機関候補についての不明・不備事項は**応募者が受入機関候補に確認し、HIDAへ回答**

## (3) マッチングによるインターン候補者の選考（2013年6月～7月）

### 公募

- ◆(2)で選考された応募者の「インターンシップ申込書」を受入機関に送り、受入可否確認
- ◆受入機関の回答を基に、本事業の目的等総合的に勘案してマッチング調整  
⇒必ずしも第1希望の受入機関候補とのマッチング成立するものではない
- ◆応募者に対し、スカイプ、メール等受入機関候補から直接またはHIDAを通じて質問する可能性有り

### 提案

- ◆マッチング調整行わない
- ◆応募者数、面接結果等によりインターン候補者として選考されない可能性も有り

## (4) マッチング・選考結果通知(2013年7月中旬以後順次通知予定)

### 共通

- ◆マッチング結果に関する個別問い合わせにはお答えできません
- ◆マッチング成立後も受入機関候補の都合、査証等滞在に必要な手続きの制約等により派遣できない場合も有り
- ◆本時点では「インターン候補者」 審査委員会の承認後、インターンとしての派遣決定

## (5) HIDAとインターン候補者・受入機関間の契約・MOU（覚書）締結(2013年7月～)

### 共通

MOUの締結は、下記の通り二段階方式で進めます。

#### 1. ①基本契約・②基本MOUの締結(派遣に関する基本的な権利、義務)

- ①HIDA＝インターン候補者＝インターン候補者所属企業・機関(もしくは連帯保証人)
- ②HIDA＝インターン候補者＝受入機関

#### 2. 付属MOUの締結(インターンシップ内容(概要)等)

HIDA＝受入機関＝インターン候補者

- ◆契約締結後の自己都合による参加キャンセル⇒事前研修等費用返還を求める場合有り

## (6) 国内事前研修の実施(2013年8月) 別途説明

### 共通

- ◆実施目的: インターンシップ派遣前に安全で成果のあがるインターンシップに取り組むための心構え、基本的な知識・スキルを習得し、帰国後のインターンシップの成果の活用に明確なビジョンが持てるようにする
- ◆実施場所: HIDA東京研修センターまたは外部施設
- ◆TOEIC SW(スピーキング・ライティング)試験
  - ・国内事前研修期間中またはその前後及び帰国後の2回受験
  - ・全インターン候補者対象
  - ・インターンシップの目標設定及び派遣後の成果把握の参考のため
  - ・受験料は事業費負担
  - ・TOEIC事務局による個別インタビューをお願いする可能性あり



研修プログラム		社会人	学生
<b>I インターンシップ基礎研修コース</b> ◆危機管理、インターンシップ計画策定の進め方等 ◆2日間 ◆日本語で実施		参加必須	
<b>II 育成グローバル人材</b>	<b>海外ビジネス展開基礎プログラム</b> ◆海外展開の進め方についての基礎的な知識と具体的で実践的な手続きのやり方、ノウハウの習得 ◆3日間 ◆日本語で実施	参加任意 ↓ 参加の場合、 いずれかを選択	-
	<b>グローバルビジネスリーダー実践プログラム</b> ◆グローバルビジネスリーダーとして必要とされる知識・スキル・心構えの習得 ◆3日間 ◆英語と日本語で実施		-
	<b>ネクストリーダー育成プログラム</b> ◆社会人として求められる基本的マナー、姿勢、ビジネススキルの習得と高度なコミュニケーションスキルの習得 ◆3日間 ◆英語と日本語で実施	-	参加必須
<b>III 現地語研修コース</b> 対象言語(予定) インドネシア語、ビルマ語、ベトナム語、タイ語、トルコ語等		非英語圏派遣候補者全員 参加必須	



### 現地語研修が開設されない国への派遣者

8月 研修コース(日数)	参加要否	第1週 1-2	第2週 5-9	第3週 12-16	第4週 19-23	第5週 26-30
I インターンシップ基礎研修コース (2日間)	全員参加必須		① 8/5-8/7			
II グローバル人材育成研修コース (3日間)	社会人:任意 学生:必須 I 基礎研修コースに 続けて参加			② 8/8-8/9		

### 現地語研修が開設される国への派遣者

8月 研修コース(日数)	参加要否	第1週 1-2	第2週 5-9	第3週 12-16	第4週 19-23	第5週 26-30
III 現地語研修コース (土日除く10日間)	該当者必須		① 8/5-16			
I インターンシップ基礎研修コース (2日間)	全員参加必須				② A 8/19-20	② B 8/26-27
II グローバル人材育成研修コース (3日間)	社会人:任意 学生:必須 I 基礎研修コースに 続けて参加				③ 8/21-23	③ 8/28-30

社会人対象コースはA日程、学生対象コースはB日程の予定

## (7) インターンシップ計画書の提出・受理(2013年9月上旬まで)

### 共通

- ◆MOU締結後、インターン候補者と受入機関との間で更に協議を進め、具体的なインターンシップ計画書を策定し、HIDA・JETROに提出
- ◆インターン候補者及び受入機関は、インターンシップの目的・目標・内容理解を明確にし、**双方主体的かつ積極的に協議を行なってインターンシップ計画書を策定する**
- ◆策定したインターンシップ計画書に不備がある場合または内容が詳細でない場合、再度作成・提出を求める
- ◆インターン候補者が受入機関と連絡の際は、連絡・調整内容、進捗状況をHIDA・JETROと十分共有の上進めること
- ◆計画書の提出・受理 8月上旬～9月上旬まで(原則審査委員会実施までに提出)

## (8) 審査委員会によるインターンの承認(2013年9月上旬)

### 共通

- ◆審査項目:(7)で策定した目的・目標・計画内容、インターン候補者の適性・英語力等
- ◆**審査委員会の承認をもって正式にインターンとしての派遣が決定**  
⇒承認が得られない場合、派遣は実現しない

## (9) インターン候補者による派遣前準備(2013年7月～9月)

### 共通

- ◆マッチング調整終了後、インターン候補者はインターンシップ計画の策定の他、下記の点について出発前準備開始(受入機関との連絡・調整内容、進捗状況を適宜HIDA・JETROに報告)
  - ・派遣国の経済概況、社会情勢、安全面情報等に関する情報収集
  - ・インターンシップ期間中の滞在先、交通手段等の生活基盤に関する情報収集⇒安全面考慮
  - ・予防接種⇒受けることが望ましい感染症の任意予防接種費用は、領収書の提出により事業費対象
- ◆航空券手配、査証申請手続き、海外旅行保険付与等⇒HIDAがサポート

## (9) インターンの派遣（2013年9月中旬～）

### 共通

- ◆原則9月中旬から2月までの3ヶ月～5.5ヶ月間を派遣期間の上限として、マッチングが成立した受入機関へ派遣⇒遅くとも2月下旬に帰国
- ◆派遣期間・時期は受入機関とインターンの希望・都合を勘案、調整して決定⇒取得可能な査証と滞在可能日数等により派遣期間に制約が生じる場合有り
- ◆派遣国において治安悪化等現地情勢が悪化した場合、派遣できない場合有り

## (10) 現地オリエンテーションへの参加

### 共通

- ◆JETRO海外事務所等提供
- ◆派遣国の一般経済概況、政治・文化、進出日系企業の動向、ビジネスチャンス・リスク、生活環境安全関連情報等

## (11) 派遣後のインターンによる調整業務等

### 共通

### 1. インターンシップ計画書の確認、提出:

- ◆派遣前に受入機関と策定したインターンシップ計画書の再度見直しを行ない、細部を調整して作成の上、派遣国到着後1週間以内にHIDAに更新版を提出

### 2. 月報の作成・提出:

- ◆インターンによる月報の作成・提出
  - ・活動内容、生活状況等について月報を作成し、HIDAに提出
  - ・報告書の提出は月1回となりますが、インターン自身の進捗管理上の観点からも毎週必ず記載し、必要に応じて受入機関に報告してフィードバックを求めること
- ◆受入機関による月報の作成・提出  
受入機関もインターンシップ進捗状況やインターンの生活面等に関し月報をHIDAに提出

### 3. 安全管理について

- ◆インターンシップを安全に実施できるよう、派遣国における安全情報等、受入機関担当者、外務省やSOSインターナショナルが提供する情報を積極的に収集する

### 4. 各種届出の提出

- 派遣国到着後から派遣期間終了までの間、HIDAが求める書類(例:派遣国到着届等)を速やかに提出する 14

## （12）終了報告書、アンケートの提出（インターン帰国後～2014年2月）

### 共通

- ◆インターンシップ終了後、インターンシップ報告書およびアンケートをHIDAに提出
- ◆提出期限： 帰国後2週間以内（2月下旬帰国者の場合、2月中）

## （13）帰国報告会の開催（2014年1月～3月）

### 共通

- ◆各インターンが得た経験・成果等を他のインターンと共有し、インターンシップ事業を総括
- ◆開催時期： 2014年1月～3月の間で2日間（複数回開催予定）
- ◆開催場所： HIDA東京研修センター（予定）

## （14）対象経費精算

### 共通

- ◆派遣期間中インターンが立て替えて支払った対象経費  
（査証延長に関する派遣国で支出した申請料、空港出国税等）
- ◆原則帰国後1ヶ月以内に精算



<p>■派遣先</p>	<p>・アジアを中心とした開発途上国の政府・政府系機関、民間企業(日系/ローカル)、国際機関、業界団体等          ・原則として「公募型」用受入機関候補リスト掲載国を対象</p>
<p>■派遣時期</p>	<p>原則9月中旬から2月までの3ヶ月間から5.5ヶ月間</p>
<p>■募集人数</p>	<p>200名程度</p>
<p>■所属</p>	<p>①社会人(推薦あり) ②学生 ③社会人(推薦なし)</p>
<p>■参加資格</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>日本国籍</b>を保持している者で、原則として応募時点で日本に住所を有し、居住している者</li> <li>2. 原則として申込日時点において<b>満20歳以上35歳以下</b>の心身ともに健康な者</li> <li>3. <b>開発途上国でのビジネスに強い意欲</b>を持ち、3~5.5ヶ月間程度、派遣先でインターンシップに連続して<b>専従</b>できる者</li> <li>4-1. <b>所属①社会人(推薦あり)の方</b>: <b>基礎的な英語力</b>を有すること              (TOEIC700点又は英検準1級程度の英語力を有している事が望ましい)</li> <li>4-2. <b>所属②学生・③社会人(推薦なし)</b>: 英語での講義や討論に参加できるだけの<b>十分な英語力</b>を有すること(TOEIC700点又は英検準1級程度)</li> <li>5. その他、各受入機関(派遣先)が定める条件に合致する者</li> <li>6. <b>提案型</b>: 提案する受入機関候補が本事業の趣旨を理解し、インターン受け入れに関する合意を得ていること</li> </ol>





インターンシップ計画の策定に向けた協議、派遣国の滞在先情報入手等、派遣準備に当たり**主体的かつ能動的に受入機関と折衝・調整**を行うことができる

受入機関によるフォローアップの欠如、インターンシップ計画の変更等困難な状況下においても受入機関や関係者と柔軟に粘り強く協議・調整を行い、自らインターン計画・内容と提案して実現できる**強いマインド・行動力・柔軟性**を持っている

インターンシップを通じ、本事業の目的を達成できるよう、**具体的な成果の達成に向けて全力を尽くす気概**を持ち、維持できる

**派遣国の社会文化、価値観に敬意**を払い、現地の人々と**友好的な信頼関係**を築くことで、日本と派遣国との経済協力強化及ビジネス関係の発展を担う**架け橋となる意欲**を持つ

※HIDAホームページより「インターンシップ申込書」書式一式をダウンロード

提出書類	留意事項	①社会人 (推薦あり)	②学生	③社会人 (推薦なし)
インターンシップ申込書(表紙)	原本には申込者・同意者による署名(各1箇所)要	○	○	○
インターンシップ申込書(日本語版)		○	○	○
インターンシップ希望内容申告書(日本語版)		○	○	○
Application form(英語版)		○	○	○
Statement of Purpose(英語版)		○	○	○
問診票	診断・検査費用は支給対象外	○	○	○
所属企業・機関からの推薦状		○	—	—
小論文 A4用紙1枚程度(英語)	「志望動機と帰国後の人生設計」	—	○	○
語学能力証明書コピー	A4コピー 応募者氏名記載があること	△	△	△
会社パンフレット	資本金、売上高、従業員数記載	○	—	—
学生証コピー	A4コピー 応募者氏名の記載があること	—	○	—



# 申込方法 【提案型】

募集要項 P.20～22

※HIDAホームページより「インターンシップ申込書」書式一式をダウンロード

提出書類	留意事項	①社会人 (推薦あり)
インターンシップ申込書(表紙)	原本には申込者・同意者による署名(各1箇所)要	○
インターンシップ申込書(日本語版)		○
インターンシップ希望内容申告書 (日本語版)		○
Application form(英語版)		○
Statement of Purpose(英語版)		○
問診票	診断・検査費用は支給対象外	○
所属企業・機関からの推薦状		○
語学能力証明書コピー	A4コピー 応募者氏名の記載があること	△
会社パンフレット	資本金、売上高、従業員数記載	○
受入機関登録票	カバーレターに受入機関候補の署名が必要であるが、PDF入手可。但し署名部分がはっきりと確認できる解像度であること	○



申込締切

\* 2013年6月21日(金) 17時半

\* データ及び書面**必着**

送付先

〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

一般財団法人 海外産業人材育成協会

事業推進部 事業受託2グループ

国際即戦力育成インターンシップ事業担当宛

電話: 03-3888-8257

E-mail: [intern-cr@hidajapan.or.jp](mailto:intern-cr@hidajapan.or.jp)

書面による提出部数 **4部**

\* 署名部分については、**オリジナルは1部、  
他3部はコピー提出可**

	公募型	提案型
1	審査委員会で正式に派遣が承認されます。マッチング成立後、国内事前研修参加後であっても、承認を得られなかった場合、派遣は実現しません。	
2	審査委員会の承認後であっても、必要な査証や関連省庁の受入許可等が取得できず派遣に至らない場合があります。 また、外務省が示す海外危険情報を参考とし、派遣国において治安悪化等の理由により現地情勢が悪化した場合は派遣できないこともあります。	
3	特定の受入機関候補への申込状況等により、必ずしも第1希望の受入機関候補とのマッチングが成立するものではありません。	
4	選考・面接・マッチング結果、審査委員会での諾否に関する個別のお問合せには一切お答え致しません。	
5	募集要項添付5「各国の滞在許可（査証）等についての情報や派遣期間に関わる留意事項」に記載されているような査証延長・再取得等に関する不確定要素があり、希望する派遣期間を満了できない可能性があります。	
6	インターンシップ終了後、インターンの派遣を通しての事業成果を、HIDA・JETROホームページ等で公表させていただきます。 2013年度実績として、インターンの所属企業・機関名や、派遣国名、受入機関名、受入機関でのインターンシップ内容概要等の情報も開示することになります。	

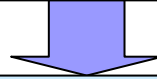


# 主な経費支援と責務

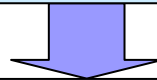
募集要項 P.23～24

<p>■ 主な経費支援</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国内宿泊費 国内事前研修及び帰国報告会時のHIDA研修センター/外部施設宿泊費 ※現物提供 (研修センター/外部施設までの交通費、及び食費は支給されません)</li> <li>2. 渡航旅費・渡航関連費用 航空券・ビザ申請代、対象予防接種費用、緊急時移送を含むメディカル・セキュリティサービス適用/海外旅行保険付保</li> <li>3. 現地滞在費支援 宿泊日数×4,500円(派遣国への入国日から出発日前日まで) ※現地での宿泊費及び受入機関への日々の交通費、その他雑費に充当 ※出発前にインターン指定のインターン名義個人国内口座に支払います。</li> </ol>
<p>■ 受入機関の主な責務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップで行う業務内容の概略・方針決定、実施体制構築</li> <li>・インターンシップ計画策定</li> <li>・インターンへのオリエンテーション実施、業務環境及び生活環境整備のサポート(宿泊施設斡旋、通勤手段等情報提供、携帯電話手配支援等)</li> <li>・インターンの派遣国到着・出国時における空港送迎</li> <li>・インターンシップ進捗管理、指導監督、HIDA・JETROへの定期報告、連絡、協議</li> </ul>
<p>■ インターンの主な責務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①派遣前国内事前研修、②現地オリエンテーション(派遣国最寄のJETRO事務所で実施予定)、③帰国報告会への参加、④フォローアップ調査等への協力</li> <li>・インターンシップ計画策定</li> <li>・派遣期間中のインターンシップ業務への専従 ※日本への一時帰国を含め、<u>原則として派遣国を離れることは不可</u></li> <li>・受入機関との定期的な進捗確認と業務内容に関する協議</li> <li>・HIDA・JETROへの定期報告(国内出張届、月報、メール連絡等)</li> <li>・派遣国での自身で可能な安全確保及び健康管理の徹底(危険情報等収集、通信手段確保等)</li> <li>・各種届出や報告書(月報/帰国後2週間以内に「インターンシップ報告書」)の遅滞なき提出</li> <li>・日本国政府の公的資金を活用したインターンとしての自覚ある行動・言動</li> </ul>

応募締切日6月21日(金)までに受入機関候補の開拓ができない、受入について同意を得られない等、申込が間に合わない場合



募集要項添付7「二次募集申込み(予定)について」に必要事項記載



一般財団法人 海外産業人材育成協会  
事業推進部 事業受託2グループ国際即戦力育成インターンシップ事業担当宛  
E-mail: [intern-cr@hidajapan.or.jp](mailto:intern-cr@hidajapan.or.jp) 宛メール送付 6月21日(金)まで

## 留意事項

但し、二次募集については以下の通り制約が生じる可能性有り

- ◆初回募集のマッチング成立状況、予算執行状況によっては二次募集を行わない、または二次募集の定員が少数となる可能性
- ◆派遣期間は最長3ヶ月となる
- ◆二次募集の参加者への国内事前研修は、8月実施内容の一部に留まる可能性

## 二次募集スケジュール(予定)

8月中旬: 二次募集の案内  
9月中旬: 応募締切  
10月上旬: 選考結果通知  
10月中旬: 国内事前研修  
11月下旬: 派遣(2月下旬まで)



ご清聴ありがとうございました

---

お問合せ先

**HIDA** 事業推進部 事業受託2グループ

「国際即戦力インターンシップ事業担当」係

TEL : 03-3888-8257

FAX : 03-3888-8242

E-mail: [intern-cr@hidajapan.or.jp](mailto:intern-cr@hidajapan.or.jp)

お申込、詳しいご案内はこちら↓

<http://intern.hidajapan.or.jp/>